

脱炭素に向けた太陽光発電設備の導入
荒井浄水場においてP P A方式を取り入れた
太陽光発電を開始しました



ターゲット 7.2



ターゲット 17.17

2026年4月8日

郡山市上下水道局

水道保全課

課長 佐藤 秀吉

TEL : 932-7682

SDGs ターゲット 7.2 「再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。」

SDGs ターゲット 17.17 「さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

脱炭素及び経費削減を推進するため、荒井浄水場内の未利用スペースにオンサイト
P P A方式※による太陽光発電を開始しました。

- 1 事業名 荒井浄水場太陽光発電設備導入事業（P P A）
- 2 契約相手 大和リース株式会社 福島支店
- 3 事業期間（契約期間） 令和8年4月1日から令和28年3月31日まで
（20年間）
- 4 太陽光パネル設置面積 約3,200㎡
- 5 年間発電電力量 約437,000 kWh（約110世帯の年間電気消費量相当）
- 6 P P A方式による太陽光発電のメリット
 - （1）上下水道局の費用負担なしで、契約相手方が荒井浄水場光発電設備を設置
 - （2）温室効果ガス削減量：約190 t-CO₂/年
 - （3）電気料金削減：約470万円/年（荒井浄水場動力費の10%程度）

※オンサイトP P A方式（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

PPA 事業者が、企業や自治体等の敷地内に太陽光発電設備を設置し、企業や自治体は、発電した電力を電力会社より安価で買い取る。設置及び維持管理費は PPA 事業者が負担